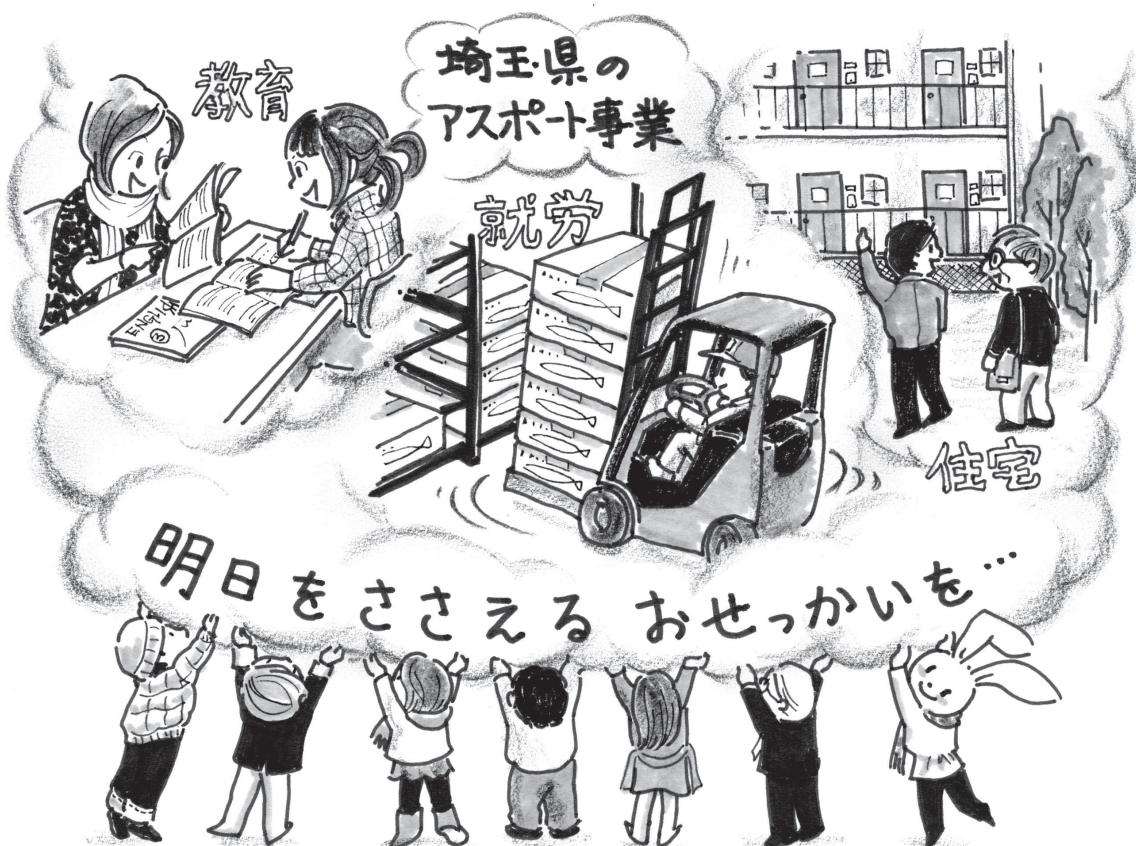




中村まさ子の区議会レポート

2012年11月10日発行

編集・発行 市民の声・江東 江東区大島8-13-1 Tel.03-3636-1031 Fax.03-3636-1033
E-mail: usausa@js5.so-net.ne.jp ホームページ: http://www.asahi-net.or.jp/~jv6m-nkmr



市民の声・江東 区政報告会
日時 12月8日(土)
午後5時30分
場所 総合区民センター 第3研修室
参加費無料
どなたもお気軽に参加ください。
終了後「望年会」を行います。
(千五百円) 4ページ参照。

埼玉県のアスポート

埼玉県の生活保護受給者チャレンジ支援事業「アスポート」を視察しました。埼玉県は増え続ける生活保護受給者に寄り添い、自立に向けて丁寧な支援を行っています。支援の内容は「教育」「就労」「住宅」の3分野にわたります。

教育支援の目的は貧困の連鎖を防ぐこと。それには教育がもつとも有効だとされています。特別養護老人ホームの施設22か所を会場にして、県内の大学生ボランティアを中心にマンツーマンで中学3年生の学習支援に取り組んでいます。昨年度は生活保護家庭の高校進学率が10%アップして97%になったそうです。大きな成果を生んでいます。

リーマンショック以降、全国的に壮年世代の生活保護受給者が急増しています。埼玉県ではこれらの人々に対し、職業訓練の受講から再就職までマンツーマンで一貫して支援しています。資料を見ると「生活習慣改善セミナー」「面接力向上セミナー」「原付バイク免許取得講習」など、受講者の現状や地域の特性にあわせた多彩な技能

講習が用意されています。こちらにも618人が就職するという成果がありました。

住宅支援事業は無料低額宿泊所から民間アパートや社会福祉施設への転居を支援します。その内容は不動産業者との交渉、債務相談、障がい者手帳の取得や年金受給の支援、病院受診の付添など、住まいの問題に限らず安定した生活ができるまで住宅ソーシャルワーカーが寄り添います。これらの取り組みにより将来の社会的コストが削減でき、大きな投資効果をもたらすと考えられます。

このアスポート事業の現場はNPOや社団法人に委託されています。事業の経費は緊急雇用創出基金事業等を活用して全額国の補助金です。この補助は3年限りですが、国に延長を要望しているそうです。県の担当者は「是非みなさんの自治体でも取り組んでください。取り組みが増えれば国も動きます。」とエールをおくられました。「おせっかいかもしれないけど」という担当者のことばに、こんなおせっかいが今の時代には必要なんだと感じました。

中村まさ子

2012年第3回 江東区議会定例会

(2012年9月20日～10月19日)
市民の声・江東 中村まさ子

決算委員会

1 生活保護費について

中村 昨年度の江東区の不正受給の現状は？

生活保護課長 件数は45件、発生率は0・3%（国は0・4%）理由は就労収入や年金収入の未申告が7割を超える。

中村 生活保護基準以下で暮らしている世帯で、実際生活保護を受給しているのは2割程度。

2011年度の江東区一般会計決算は歳入が1600億円、歳出が1559億円 で、41億円の黒字となった。昨年の東日本大震災に関連する事業としては、被災者支援総合窓口事業100万円、同報無線放送整備1億2200万円、液化化の被害が出た道路復旧に3億1400万円、小中学校復旧に1億3300万円などがあげられる。生活保護事業費は前年度より15億円増加して173億円、豊洲の新病院への整備費補助に25億円、旧中川・川の駅事業に1600万円が支出された。また長年要望してきた学校図書館への司書の配置が小学校で実現しました。

OECD諸国に比べて利用率、捕提率とも大変低くなっている。この漏給について江東区の対応は？

生活保護課長 生活困窮者を一人でも多く福祉事務所に結びつけるため、民生委員やライフライン事業者（電気・ガス・水道など）と連携して地域全体で把握に努める。

 他議員の質問に対して「必要な人がきちんと生活保護が受けられるようにする」「扶

養の有無は生活保護受給の要件ではない」とも答弁している。

中村 今年に入って親子や兄弟姉妹など、高齢者見守り事業から外れている人たちの孤立死や餓死が多発している。その前に電気やガスが止まるという前兆があるが、札幌市ではライフライン業者の料金窓口对生活保護のチラシを置くなど連携をとっている。江東区も検討を。

生活保護課長 区ではホームページや区報で生活保護制度の広報に努めるとともに、ライフライン業者や警察、民生委員などに情報提供をお願いしている。

2 母子家庭支援策

中村 9月発表の「2011年度全国母子家庭調査結果」を見ると、母子家庭の困窮度がよくわかる。そのなかで「公的制度の利用状況」が大変低くなっている。自立支援教育訓練費、高等技能訓練給付費、母子福祉資金、生活福祉資金など、制度を知らない人が多い。どのように周知しているか？

課長 ホームページや区報、子

育てハンドブック、窓口のパンフレットだけでなく母子自立支援員が紹介している。周知手段は限られているが周知の工夫をする。

中村 貧困の連鎖を食い止めるために学習支援、進学支援が重要だがどのような施策を行っているか？

課長 母子家庭に限らず、中高生を持つ低所得世帯に学習塾費用や受験料を貸し付ける「受験生チャレンジ支援貸付相談事業」（注）を実施している。昨年度は456件の「貸し付け」があった。

（注）受験生チャレンジ支援貸付相談事業・・・区が受付窓口になっている東京都の事業。中3、高3の子どもを持つ世帯を対象に塾費用や受験料を無利子で貸し付ける。合格した場合返還が免除される。塾費用は20万円、受験料は中3が27400円、高3が10万5000円（いずれも上限額。収入など利用条件がある）



8月末、行政視察 千歳市防災学習交流センター「そなえーる」にて。関東大震災から東日本大震災まで記録に残る大地震を体験できた。



3 清掃事業の収集運搬

中村 23区の一一般ごみや資源ごみの収集運搬事業は23区清掃協議会（区長たちがメンバー）が「東京環境保全協会」（東環保）と契約を結び、その多くを委託している。東環保は労働者供給事業を行う組合から運転手や清掃車の供給を受けているが、その組合では多くの問題行為がある。

賃上げ分をきちんと労働者に払わない、厚生年金に加入させない、労働基準法違反や団結権侵など。重要な公共事業を担っているごみの収集運搬事業の現場でそのような問題があること

を認識しているか。またきちんとチェックをして是正を求めるべきではないか？

4 震災がれきの広域処理

清掃事務所長 江東区では直営の清掃車10台、東環保からの車両は平均73台。東環保との契約金額は資源回収などを含めて約15億円。組合内部の問題については把握していない。適正な処理を行っているとは認識している。

中村 広域処理の必要性は低下してきているのではないかな。今後の見通しは？

清掃リサイクル課長 これまでに東京都が受け入れた震災がれきは約3万8000トン。今年度末までに13万2000トン受け入れ予定。宮古市では広域処理によって港湾設備が使えるようになった。

環境清掃部長 そういう状況があるのであれば把握に努めている。

区長 組合との争いについては、深く入り込むことは控えているが、清掃協議会あるいは区長会として見守っていききたい。



公共事業を民間に委託し、そこで不当労働行為やひどい低賃金労働があっても「直接の契約相手ではない」と知らん顔をすることは許されません。

歴史的経緯もあって23区は東環保と特命随意契約を長年結んできました。それなら事業全体にわたって公正な執行を求めるべきです。

5 国民健康保険会計

中村 昨年度保険料の算出方法が変更された。算出のモデルケースを見ると年収230万円から300万円の子育て世帯の負担増が11〜12%となり、他の世帯に比べて最大になっている。その理由と影響は？

医療保険課長 年少扶養控除の廃止の影響が出た。江東区では2191世帯で1世帯当たり1万8000円程度の負担増になった。

中村 医療費削減策のひとつとしてジェネリック医薬品の使用を推奨しているが、課題はないか。また医療費削減効果はどれくらいか。薬の出しすぎをチェックする方が医療費削減効果がある、という意見もあるが、その認識について。

医療保険課長 品質の確保や情報提供、安定供給において課題はある。削減効果はまだ明らかでない。レセプト点検をしているが、薬の出しすぎまではチェックできない。医師が適正に薬を出していると考えている。

中村 70歳から74歳の高齢受給者証を持つている方は来年3月には現在の1割負担から2割負担になる（現役並み所得者は3割のまま）。日本医師会のアンケート調査では、1割負担から2割負担になると受診抑制がある。

急増し、その結果病気の悪化を招いている。2割負担に反対する必要があるのでは？

医療保険課長 国の動向を見守る。

◆議案のポイント

(1) 予算↓オリンピック招致事業に反対。
(2) 決算↓民間委託の見直し、貧困対策の強化を。
(3) 暴力団排除条例の一部改正↓住民に暴力団排除の責任をおわせる点、基本的人権侵害のおそれがある点に反対。

■議案の審議結果

★私の賛否は「市民」を見てください。

件名	自	公	共	みんな	民	市民	他無所属4名
平成24年度 一般会計補正予算 (1)	○	○	×	○	○	×	○
平成23年度 一般会計歳入歳出決算、国民健康保険会計歳入歳出決算、介護保険会計歳入歳出決算、後期高齢者医療会計歳入歳出決算 (2)	○	○	×	○	○	×	○
小名木川保育園移転新築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○
江東区暴力団排除条例の一部改正 (3)	○	○	○	○	○	×	○
保育所の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○
江東区立都市公園条例の一部改正、江東区水上バスステーション条例の一部改正、江東区立公衆便所条例の一部改正、江東区立児童遊園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○
児童館の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○
江東区防災会議条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○
江東区災害対策本部条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○
江東区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	×	○

＊「緊急事態基本法の早期制定を求める意見書提出を求める陳情」については、災害や有事に現行法で対応できること、人権保護の観点から問題があることなどの理由で反対。
共産党、新島議員、区議員も反対したが賛成多数で採択された。

福島原発告訴団 亀戸説明会

福島の人たちは福島第一原発

の事故によって生命・健康、財産、家族、仕事、故郷を奪われましたが、現在に至るまで東京電力、政府、御用学者たちは、誰一人責任を取らず、処罰もされていません。今年の6月、1324人の福島県民がその責任を問うて彼らを福島地検に告訴しました。

放射能汚染の影響は、空気・水・大地・海・食物などを通じて日本中に及んでいます。江東区でも線量の高い場所が存在し、

環境測定、給食食材の測定を迫られました。関西などに転居したご家族もいます。私たちも原発事故の被害者です。

福島原発告訴団は第2次告訴として、全国の人々に告訴・告訴への参加を呼びかけてきました。その呼びかけに応えて、10月6日、告訴団長の武藤類子さんと保田弁護士に来ていただき、亀戸で告訴団説明会を開催しました。

武藤類子さんからは原発事故前の三春町での美しい暮らしと現状、告訴に至る心情をお話いただき、保田弁護士は告訴の意義、手続きなどをお話いただき

ました。多くの参加者が武藤さんの話に心を寄せ、第2次告訴団に参加していただきました。



10月6日 福島原発告訴団説明会
告訴団団長 武藤類子さんと

とことん討論会

8月22日、タワーホール船堀で第17回東京23区とことん討論会が開催されました。

私は「改めて考える『ごみを燃やす』こと―ごみをできるだけ燃やさない視点から―」というテーマの第3分科会で発言者として出席、カナダ・ノヴァスコシア州の脱焼却・脱埋立の取り組みについて報告しました。ごみ問題は自治の問題でもあることを再認識した分科会でした。

中村まさ子の収支報告

2012年		7月	8月	9月
収入	議員報酬	609,000	609,000	609,000
	費用弁償	0	5,000	20,000
支出	所得税	47,750	47,750	47,750
	住民税	53,300	53,300	53,300
	国民健康保険料	77,000	77,000	77,000
	共友会	2,000	2,000	2,000
	生活費、活動費	300,000	300,000	300,000
	退職積立金	60,000	60,000	60,000
	活動積立金	30,000	30,000	30,000
共に歩む会へ		38,950	38,950	38,950

★費用弁償は見直しを求めています。現在別枠で積み立てています。

<中村まさ子の活動日誌（抄）>

- 7月 3日 区政勉強会
- 6日 福島避難者子ども健康相談会 記者会見
脱原発1000万人署名江東講演会
- 8日 東京の学童保育研究集会
- 14日 避難された方たちと結ぶ江東の会
- 15日 福島避難者子ども健康相談会
- 16日 さようなら原発1000万人集会
- 17日 23区民自治の会
- 19日 ピースサイクルと江東区の懇談
- 20日 江東区教組定期大会、キルトクラブうさうさ
- 22日 下町ユニオン総会
- 23日 チェルノブイリ視察報告会
- 24日 公契約条例学習会
- 27日 緑の党結成総会
- 30日 沖縄の戦いと連帯する東京東部集会実行委
- 8月 4日、5日 全国フェミニスト議員連盟夏合宿
- 6日 オスプレイに抗議する街頭宣伝
- 11日 区政報告会、暑気払い
- 12日 小出裕章講演会
- 17日 キルトクラブうさうさ
- 18日 武藤類子講演会&福島原発告訴団説明会
- 22日 とことん討論会
- 24日 原発ゼロをめざす自治体議員国会集会
- 25日 コリアフェスティバル
- 27日 1000万人署名会議
- 28日～30日 行政視察(函館、室蘭、千歳)
- 30日 避難された方たちと結ぶ江東の会
- 31日 東部集会実行委
- 9月 1日 東京労働安全衛生センターフィールドワーク
- 4日 区政勉強会
- 13日 クォータ制を推進する会
- 14日 キルトクラブうさうさ
- 17日 大島地区PTAソフトボール大会
- 20日～10月19日 第3回区議会定例会
- 21日 非正規労働者大集会、
避難された方たちと結ぶ江東の会
- 22日 1000万人署名活動
- 24日 1000万人署名会議
- 25日 公契約条例講演会
- 30日 福島避難者支援演奏会&バーベキュー
- 10月 5日 区政勉強会
- 6日 福島原発告訴団 亀戸説明会
- 7日 緊急シンポジウム「アスベストにご用心」
- 14日 子ども・被災者支援法勉強会
- 17日 埼玉県の生活保護受給者チャレンジ支援事業視察
避難された方たちと結ぶ江東の会
- 22日 1000万人署名会議
- 23日 奨学資金貸付審査会
- 27日 明治小開校140周年記念式典

中村まさ子と共に 歩む会



▼12月8日の区政報告会終了後、18時30分過ぎごろから同じ場所「望年会」を開催します。

▼参加費 大人1500円
子ども500円

▼参加ご希望の方は12月4日までに中村事務所の留守番電話かファックスへ、お名前・電話番号・参加人数をお知らせください。折り返しお電話差し上げます。

▼中村事務所

留守番電話(3636)1031
ファックス(3636)1033